

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 2月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	・日々の会話の中で意向を聞き、疎通の困難な方については、ご家族に聞き、生活につながっているが、今後も更に、思いや意向の理解を深めて日々の生活の中に取り込んでいく必要がある。	「より一層、一人一人の暮らし方への思いや意向についての理解を深める」	・一人一人の思いや意向について都度聞いたり、くみ取りながら更に理解を深め、日々の生活の中に取り込んでいく。その取り組みを日々振り返り、職員間で共有して次の実践へ活かす。(入居施設の利点を生かし、長い目で継続的な働きかけを行い、目標の実現を目指す)	12ヶ月
2	27	・個別ケアの実践の為には、記録の細かい部分についての具体的な記述が不足している。	「ケアに生きる記録を書けるようになる」	・“どうい働きかけをして、どのような結果であったか”気づきや工夫も合わせて記録し、職員間で共有する。次の実践に活かせるよう、記録を読んで確認し、積極的な工夫・見直しを積み重ねていくベースにする。	12ヶ月
3	49	・意思表示ができる方やご家族の希望があったときは、希望に応じた外出ができているが、意思を伝え辛い方について、外出機会につなげていく働きかけが不十分である。	「一人一人の想いに沿った外出支援を積極的に行うことができる」	・意思を伝え辛い方について、日々の関わりの中から想いを気づいて、必要ならご家族の協力を得ながら外出機会につなげていく。意思表示ができる方についても、一層の充実が図れるよう支援していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。